

ディグ DIG



災害^{さいがい}図上訓練DIG (Disaster Imagination Game)とは、地図を囲みながら、自分たちのまちの自然^{きけんかしょ}、危険箇所^{ぼうさいかんれんしせつ}、防災関連施設^{じょうぼう}などの情報^こを書き込み、災害時の対応策^{たいおうさく}を考える訓練のこと。地図の上に透明シート^{とうめい}を重ねて、シートの上からさまざまな防災関係の情報^{ちいき}を書き込むなどして、地域の災害リスクや防災資源^{しげんかくにん}を確認・共有しよう。

DIGの進め方

1

DIGを
始める前に

幅1~2mくらいの地図と書き込み用の透明シート、油性ペンやドットシールなどの文房具、ハザードマップなど、話し合いを深めるための資料を用意する。

2

地図への
書き込み

透明シートに地域の災害リスクや、避難場所・避難所など、さまざまな防災情報を書き込み、オリジナルの防災マップを作成。

3

グループ
討論

「災害に対する地域の弱点」「地域に必要な防災対策」など、地図作成を通して気づいたことを自由に話し合う。



4

まち歩き

作成したオリジナルの防災マップを活用し、実際に地域を歩き、防災の視点で地域を見直す。

色分けの例

油性ペン		
海、河川、湖沼、屋外プール	青	
鉄道	黒	
主要な道路(国道など)	茶	
主要な道路(通学路など)	薄茶	
避難地	緑(網掛)	
公園、グラウンド	緑	
空き地、田畑	薄緑	
災害により使用できない恐れのある道路・橋	黒で×	
津波の危険予想地域(想定浸水域)	薄青(網掛)	
山・がけ崩れの危険予想地域	オレンジ(網掛)	
孤立が予想される地域	黄(網掛)	
延焼火災の危険予想地域	赤(網掛)	
液状化が予想される地域	ピンク(網掛)	

ドットシール		
役場、公民館、消防署、警察署	黄(大)	
防災倉庫、資機材置き場	黄(小)	
津波避難施設	緑(大)に白(小)	
避難所となる施設	緑(大)	
寺院	緑(小)	
防火水槽	青(大)	
街灯消火器	青(小)	
ガソリンスタンド	白(大)にGS	
病院、救護所	白(大)に十字	
薬局	白(大)に薬	
食料品店	白(大)に食	
被害を受ける恐れのある建物等	赤(大小)	
危険が予測される場所・施設	ピンク(大小)	